

○プログラム（コース）名：内科的腎疾患専門修得コース

○プログラムの概要

現在の“長寿の時代”に加え、今後は“2型糖尿病の時代”を経て若年層にも広がる“メタボリックシンドロームの時代”へ変貌することが予想されます。その結果、内科腎疾患においては、動脈硬化性腎血管合併症として様々な表現型をもった chronic kidney disease（CKD）が増加すると考えられます。今後、腎臓専門医が担う大きな役割のひとつは、この変化に適切に対応し、末期腎不全患者を増加させないことと考えられますが、現状では腎臓専門医は不足しています。皆さんが描く将来の医師像は様々でしょうが、一般内科医として開業を目指す“あなた”にとっても、“全身疾患の鏡”ともいわれている腎疾患を数多く経験することは極めて有益であると考えます。さらには透析クリニックの開業を描いている“あなた”にとっては、腎疾患の専門的研修は不可欠と考えられます。腎臓は未だブラックボックスですから、腎疾患を診療するには様々な方法を駆使して病態を頭の中で強くイメージすることが重要です。皆さんは個々の症例を大事に取り扱い、それによって取得した経験的知識と教科書的知識を適切に融合させて病態を把握（診断）し、自分で問題解決（治療）につなげていく姿勢を学び取ってもらうことができれば研修は大成功と言えるのではないのでしょうか。我々は、その手伝いをさせてもらうつもりです。

○年度毎の研修内容

（一律な研修プログラムを用意するつもりはありません。面談して要望を取り入れるようにします。）

1年目	主に腎臓内科病棟の患者を診療し、腎疾患の診断技術（腎生検を含む）と治療法を修得する。日本内科学会認定内科医資格修得のための準備期間とする。		
2年目	人工透析療法について実践的に学ぶ。希望診療科を選択して研修することも可能。		
3年目	腎臓内科専門医の1人として診療に従事する。学会発表や論文作成の技能を修得する。		

○週間スケジュール

月				18:00 腎生検カンファレンス
火			15:00 科内医療安全会議 (毎月1回)	18:00 院内研修会
水	8:00 早朝カンファレンス	9:00 病棟回診	10:00 病棟症例検討会	15:00 人工透析症例検討会
木				
金				
土	第2、4土曜日は休日			

○取得できる資格

日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定内科専門医、日本透析療法学会専門医、日本腎臓学会認定専門医など